

2024年度（R6年度）ガイダンス

地圏環境科学科（地圏進化学コース）学部4年生

地学専攻（地圏進化学講座）大学院生 対象

日時：4月8日（月）9:00～10:00

会場：合同C棟 アオバサイエンスホール

学科長・専攻長：武藤 潤

教務委員：鈴木紀毅

共通

始める前に

【ガイダンス資料入手先】

http://www.es.tohoku.ac.jp/JP/private/academic_affairs/#guidance

(学内のみアクセス可)

当日配布しません。ガイダンス当日までに、自分の学年の項目の資料を確認しておいてください（地惑分野・地質分野の項目も入っていますので、間違わないでください）



共通

忘れる前に

* 令和6年度自修会委員の選出

3年生：地圏より選出（毎年度新規に選出）

4年生：●●●（3年生の委員が継続する）

大学院修士：（地質地理交互選出：奇数年度(R5)が地質）

大学院博士：●●●●（地質地理交互選出：偶数年度（R6）が地質）

教員：●●●●（地質地理交互選出：偶数年度（R6）が地質）

共通

提出・要回答事項：1

* 連絡先入力フォーム

HP:東北大学理学地球科学系・

理学研究科地学専攻 トップ >

内部向け情報 > 教務情報 > ガイダンス

「ガイダンス」から該当する各専攻・各学年の
項目へ→「入力フォーム」

※大学のIDでGoogleのログインしておくこと

※「地学連先情報入力フォーム」が開きます

東北大学理学地球科学系・理学研究科地学専攻

<http://www.es.tohoku.ac.jp>



速やかに
入力しましょう。

共通

提出・要回答事項：2

地質/進路希望調査（学部4年/院生）



回答〆切：
4月16日
（火）
17時まで

ガイダンス後、メール
でリンク先をお知らせ
します。

<https://forms.gle/FpUysKkXGjwz3oHBA>

MI

提出・要回答事項3：（M1のみ）
学習状況・進路希望アンケート（2024年度MI）



<https://forms.gle/pCNsiuzAvP7QrqFF7>

回答〆切：
4月14日
（日）
24時まで

（注）一つ前と似たアンケートですが、調査元が異なるために、データ共有ができません。

提出・要回答事項：4（院生のみ）

「アドバイザーリーボード調書」の提出

- ・記入調査用紙（wordファイル）に記入し、担当者（木幡）（kohata@tohoku.ac.jp）まで添付ファイルで、〆切日までに提出すること。提出の際、**CCに担当教員を入れ送付**すること（指導教員とアドバイザーリーボードの同意を得ての人選であることの確認とする）

《アドバイザーリーボードの人選に関して》

- ・アドバイザーリーボードは、院生本人が人選を行ってください。指導教員との協議は必要ありません。
- ・研究に限らず学生生活等も含め相談できる先生（1名以上）を決め、**教員へメールで依頼・確認**すること
- ・**1名は指導教員であること。**
- ・複数名選出すること、内1名はグループ外の方を選出すること。
- ・アドバイザーリーボードと修士論文や博士論文の論文審査委員会の審査委員とは別物です。（審査委員を院生は人選できません。）

回答〆切：4月17日（水）17時まで
ガイダンス後、メールで調査用紙お送りします。

提出・要回答事項：5

学外研究活動計画書の提出（義務）

【提出対象】 野外調査，学外機関での分析など研究活動に係る出張等，学会の参加，その他類する活動

【注意】 国内外，期間の長短，公費・私費に関わりなく要提出

【提出方法】 Google formから届け出

<https://forms.gle/2fdS1oKUJvXZ5qL86>

※事前に指導教員にも許可を得ておくこと。

詳細は、ガイダンス後メールにてお知らせします。

※提出書類は、学生院生の所在把握はもとより学外で不慮の事故等が発生した場合、保険適用の重要な証明書類となります。



「インターンシップ願」提出

【参加許可要件】

申告制。学業（研究や授業）に支障がないことを指導教員や学科長と確認し、参加について承諾を得る必要がある。

【提出先（メール）】

- ・地学教務窓口（tigaku-kyom@grp.tohoku.ac.jp）。
指導教員と木幡をccに加え提出。（教員の押印は不要）

【書類の入手先】

地学専攻HPの内部限定からダウンロード

【備考】

- ・インターンシップよりも授業、実習を優先すべきであり、学業に支障が出ないように注意。

【終了後】

- ・インターンシップ報告書を提出する
（提出先は「インターンシップ願」と同様）

事前届出は必須

教務関係:1

- * 学生便覧を熟読すること
- * Web履修について
 - ・ 東北大ウェブ SRPから、東北大学ポータルサイトから、学務情報システムへ。
 - ・ 登録期間があるので、忘れずに登録する。
 - ・ 修正期間後の登録は難しい。
- * キャンパスライフ支援室にて、履修相談ができる。
➡合同A棟 307号室 岩渕 将士相談員・菊地 幸恵相談員

教務関係：2

- * **履修単位数を確認！**（124単位：うち必要要件を確認のこと。教職科目と自由聴講科目はカウントされないので注意：便覧 P47-49）
- * 履修単位上限 28単位／セメ（4～8セメ）。
ただし、実習・演習・集中講義・教職・自由聴講を除く。
- * **奨学金制度**には、日本学生支援機構の奨学金の他、様々な奨学金の募集がある。奨学金情報については、学務情報システムから随時募集要項が送付される。応募する場合は、教務課学生支援係に連絡する。理学部・理学研究科ウェブサイト（在学生の方へ＞授業料・経済支援）に奨学金募集一覧がある。応募には履修状況が良好であることが前提となる。
- * TOEFL ITPを受験できる。

教務関係: 3

区 分	修得を要する授業科目, 単位数等
全学教育科目	以下の基幹科目・展開科目及び共通科目に記載されている要件（計48単位）を含め50単位
基 幹 科 目	6 単位以上
展 開 科 目	次の要件を含めて28単位以上 人文科学群の授業科目から 2 単位以上 24+2+2=28 社会科学群の授業科目から 2 単位以上 自然科学群の授業科目から下記の要件を含めて24単位以上を履修すること。 数学群の授業科目から 4 単位以上 4+6+6+2+6=24 物理学群, 化学群, 生物学群の授業科目からそれぞれ 2 単位以上, 合わせて 6 単位以上 宇宙地球科学群の授業科目から地球システム科学, 地球物質科学を含めて 6 単位以上 理科実験の自然科学総合実験-1・2を 2 単位
共 通 科 目	基礎ゼミ 2 単位 英語 A1-1, A1-2, A2-1, A2-2, B1-1, B1-2, B2-1, B2-2, C1-1, C1-2, C2-1, C2-2の 6 単位** 初修語の基礎 I-1・2, II-1・2*** から 4 単位 情報基礎 B 2 単位
専 門 教 育 科 目	必修授業科目22単位 選択必修授業科目から 6 単位以上 選択授業科目から40単位以上 なお, 選択授業科目の単位には, 関連科目の単位を含めることができる。

22+6単位

14単位

68単位

42
+
6
+
2
単位

68単位

さらに6
単位必要

118
単位

* 表の要件の合計は118単位となる。残り 6 単位は全学教育科目, 専門教育科目のいずれでもよい。

** 「英語 A1-1(1単位)」の履修を省略して「英語 A1-2(1単位)」の履修に代えることができる。

教務関係：4

- * 所属学科の開講科目を優先受講する。
- * 積み上げ式の科目は「選択科目」でも受講すること。
「基礎野外実習Ⅲ」 -> 「野外実習Ⅰ」 -> 「野外実習Ⅱ」
- * 他学科関連科目申請（教務課窓口へ申請）
- * 所属コース（地質）で開講する集中講義はすべて受講すること。
- * 学部むけ、R6年度に開講する集中講義
 - ・地圏環境地圏環境科学特選科目Ⅲ
（東大 Wallis Simon教授：7/22～7/24）
 - ・地圏環境科学特選科目Ⅳ（福岡大 上野 勝美教授：後期）
 - ・卓越大学院開講科目（プロジェクトマネジメント論など）

教務関係：5

2024年度（R6年度）の開講科目に関して：

※非開講・隔年科目があるので注意（時間割表、便覧を確認すること）。

※実際の開講学年・開講時期が異なる科目がある。

* **博士課程前期**むけにR6年度に開講（合計10単位）

- ・地圏環境進化学特別講義Ⅰ（東大 Wallis教授：7/22～7/24）
- ・地球環境変遷学特論（高嶋・黒柳）（9/24～9/25）
- ・地殻力学特論Ⅰ（武藤：前期・水・3コマ，合A204）
- ・古海洋学特論（高柳：前期集中）

- ・自然災害学特論（菅原ほか：後期・水・1コマ，地513）
- ・生物系統進化学特別講義Ⅱ（福岡大 上野勝美教授：後期集中）

* **博士課程後期**むけにR6年度に開講

- ・地圏環境進化学特殊講義（東大 Wallis教授：7/22～7/24）
- ・生物系統進化学特殊講義（福岡大 上野教授：後期集中）

* 卓越大学院開講科目（地学の単位になります）

- ・プロジェクトマネジメント論など（2単位）

資格取得について

- * 教職免許は卒業前に申請すること
(手続きに関しては、11月末ごろ掲示の予定)
- * 教職科目うち、生物の2科目（分子生物学と生態学：学部生用便覧P43, P123）は自由聴講科目なので、卒業認定単位にならない。
学科開講科目と時間割がかぶっている場合、自学科を先に受講
- * 学芸員資格には免状といったものはない（学部で必要単位を取得し、学芸員資格認定試験を受験。単位取得状況により免除になる可能性あり、詳しくは学部生用便覧P130)
- * 測量士補の資格は、測量に関する科目40単位を修得後、地理院へ申請する。（詳しくは学部生用便覧P131)

学生生活の注意事項：1

* 休学・復学・退学

指導教員や教務委員（鈴木先生）に相談し、学科長（武藤先生）に申し出ること

* 2つの保険加入（ほかの保険に入っている場合でも加入必要）

- ・ 学生教育研究災害傷害保険（学研災）
- ・ 学生教育研究賠償責任保険（学研賠）

※授業・実習に参加ができません

※過年度生は再度加入

※加入状況が分からない場合は、理学部教務窓口で確認

* 事故にあった際

- ・ 指導教員、教務課事務室（022-795-6645）に必ず連絡
- ・ 救急車搬送時に、「東北大生である」とことを伝えると、東北大学病院救急救命センターに優先的に搬送してもらえる

学生生活の注意事項：2

- * **過激派・宗教団体・闇バイトなどに注意**
同好会に扮していることがある。何かあれば相談
- * **違法薬物**
輸入・使用・譲受・所持等の禁止。（懲戒退学、奨学金返還、懲役刑の厳しい処分。肉体精神に障害、突然死も）
- * **ハラスメントの禁止**
アルコール，匿名攻撃，つきまとい，いやがらせ，恫喝。
- * **悩みや健康状態に不安があったら（不調2週間以上が目安）**
 - ・キャンパスライフ支援室（配付資料）
 - ・学生相談所
 - ・健康管理センター（内科・外科・歯科・精神科）

学部4年
MI・DI
(他大入学者
向け)

「研究室配属時教育」は**必ず！受講**すること。
出席確認があります。

5月オンライン。日時が決まり次第連絡があります。

その他の重要事項

- * 大学のメール (@dc.tohoku.ac.jp) を一日数回はチェックすること (学務および日常の様々な情報が送られる)。他に常用のアドレスがある場合は、転送設定を行い、確認を怠らないこと。該当する要件には返信すること。スパムメールは無視すること (知人を語って送ることもある)。
- * **連絡先入力フォーム**への回答。災害時、安否確認の連絡に重要。取扱厳守。メールアドレスは、携帯電話等の個人アドレスを記載してください。
- * **定期健康診断をWeb予約 (4月12日から開始)**
診断実施期間：4月22日 (月) ~26日 (金), 5月7日 (火)
~20日 (月) (土・日・祝日を除く)

受講方法、期間等については、
学務情報システムで
周知されます！

【受講対象】 事務技術職員を除いた**全構成員**

【対象区分】

- レベル5：教員、ポストドクトラル（40歳以上の特任研究員、
学術研究員、客員研究者等）
- ・レベル4：新任教員、ポストドクトラル（40歳未満の特任研究員、
学術研究員、客員研究者、JSPS 特別研究員等）
- ・レベル3：大学院前期課程学生・大学院後期課程学生
- ・レベル2：学部3・4年次学生

-> APRIN eラーニングプログラム (eAPRIN)

<https://edu.aprin.or.jp/>

R6年度より学部4年生は、
受講形式が変更になります。

2. 研究倫理教材について

- (1) eAPRIN（受講対象：全レベル）全てのレベルにおいて、受講が必須です。
受講者は、一般財団法人公正研究推進協会（APRIN）が提供する eラーニングプログラム（eAPRIN）<https://edu.aprin.or.jp/>を受講してください。

*レベル3～5：「JST コース（2）（理工系）（理学研究科）2023」

*レベル2 「学部導入教材（ICF）大学初年次向け研究倫理教育（理学研究科）コース」

各コースの単元のテストで 80 点以上を獲得し、修了証発行を以って受講完了となります。

（問い合わせ先）理学研究科総務課研究支援係：

sci-kenkyu@grp.tohoku.ac.jp

就職関係：1（支援・情報）

- * 地学専攻の2024年度キャリア支援委員は武藤先生（地圏）、栗林先生（地惑）です。就職の相談等は各先生へ申し出る。
- * 地学専攻に届いた求人資料やパンフレットは、地学専攻事務室向いの棚にリスト番号順に設置。自由に閲覧できる。
- * 川内キャンパスにあるキャリア支援センターにて、就職相談、エントリーシート作成の指導などを行なっているので活用してください。

<http://www.career.ihe.tohoku.ac.jp/>

- * 理学博士のための就職支援「サイト ビズ・リガク」

<https://biz.sci.tohoku.ac.jp/>

就職関係：2

- * 求人で地学専攻並びに学科枠の推薦のあるものは、**事前に必ず**キャリア支援委員に申し出て、他推薦者の有無を確認し、推薦の許可を得てから申請する（事後承諾は難しい場合が多い）。
 - * 「学校推薦」を求められた場合、専攻および学科からの推薦人数を超えない範囲で対応します。
- ※就職活動にあたり、学生諸君には企業との信頼関係を考慮した対応を要請します。信頼に反する行為をした場合、迷惑は後輩達が負うこととなります。

経済支援（支援プログラム）

博士後期学生（一部博士課程前期への支援も含む）への経済支援事業

1. 学際高等研究教育院（便覧 P46-49）

分野融合を目指す若手研究者を養成

2. 環境・地球科学国際共同大学院プログラム（P57-61）

リーダーシップを持つ国際性豊かな研究者を育成

3. 変動地球共生学（SyDE）卓越大学院プログラム（P.74-81）

産官学連携により様々な場面で活躍する高度専門人材を育成

4. 次世代育成「サイエンス・アンバサダー」（SA）

小中高校生に対して科学の魅力を伝え、次世代の研究者を育成

*1-3はいずれも月額16万円程度の経済支援あり（返還不要の奨学金）

充実した学生・研究生生活を 過ごしましょう

東北大学理学地球科学系・
理学研究科地学専攻

<http://www.es.tohoku.ac.jp>

ガイダンスの資料・新学期の配布資料・回答フォーム等は
すべて地学専攻HPに掲載されています。
必ず、HPをチェックして、新年度をスタートさせましょう。